


令和元年(2019)度 研究サマリー

研究会名称	透析患者における活性型ビタミンDの心血管イベント抑制効果—日本透析活性型ビタミンD試験 (J-DAVID)—	
代表者所属	大阪市立大学大学院医学研究科 血管病態制御学	
代表者氏名	庄司 哲雄	
研究方法・結果	<p>【研究方法】 ランダム化比較試験として実施した J-DAVID 試験のデータを利用した観察研究について研究仮説を公募し、選定された研究課題については統計解析担当が解析を実施し、応募者が筆頭著者となって論文化するという研究方法とした。研究全体としては「J-DAVID ランダム化比較試験の事後解析 (J-DAVID 公募研究)」という研究課題名とし大阪市立大学医学研究科で倫理審査の申請を行い、承認された (承認番号 4420)。</p> <p>【結果】</p> <p>■研究課題の選定 2019年1月1日～2019年3月31日に公募を行い、5件の応募があった。2019年4月26日に開催された選考委員会にて、以下の3課題を採用することに決定した。</p> <p>整理番号 応募者 課題名 2019-01 井関邦敏 透析液 Ca 濃度と生命予後 (2.5 vs. 3.0) 2019-02 坂口悠介 活性型ビタミンD製剤介入効果の ALP 値による層別解析 2019-04 古志衣里 透析患者におけるリンの経時情報活用による循環器病発症リスクの推定研究</p> <p>■解析結果 それぞれの課題に関して、応募者と統計解析担当者との間で解析内容の詳細について協議し、2020年3月31日現在、解析中である。</p>	
研究成果 (論文、学会発表、雑誌掲載等)	現時点で学会発表や論文発表は行っていない。	